

なかつか 亮



「29号線は整備を推進する」

濱野区長が品川区議会で発言(2月26日)

静かな住宅街に20m道路は



解説「補助29号線とは、昭和21年に戦災復興都市計画街路として決定された幅20mの都市計画道路。山の手通り大崎警察脇から豊町→二葉町→西大井を縦断。国道1号線につなぐバイパス道路です。30年前から住民の反対運動で現在まで事業化をストップさせてきましたが、昨年、品川区は長期計画で29号線の推進を明記。問題が急浮上しました。

本会議にて
2月末より始まった第一回定例会。2月26日の一般質問で、自民党区議の「補助

29号線について」の質問に対し、濱野区長は「防災街づくりの観点から整備を推進する必要がござい

ます」と発言。29号線の推進、再浮上を狙う品川区の姿勢が、浮き彫りになりました。裏へ

昨年から連載している「29号線」問題。ついに濱野区長が、区議会本会議で整備の推進を明言。道路計画の事業化には、東京都の決定が必要です。住民の反対を無視し、街を分断、住環境を壊す20m道路を推進とは許せません。子や孫の世代に静かな住宅街を残すため、今こそ力をあわせ「計画廃止を」の声をあげましょう。

区政報告に対する、ご意見
ご要望お寄せください。
メール ryo@nakatsukaryo.net

昨年からの経過

昨年、品川区は今後10年間の区政運営を定める「長期計画」の策定委員会を設置し、計画策定を進めてきました。

この計画案に「29号線、31号線の整備を推進」が明記され、驚いた近隣住民は、住民意見公募で「道路計画の反対」「廃止」を求める意見を提出。共産党も「止めるべき」と主張しました。しかし、策定委員会は、



共産党を除く全ての委員（区議会選出、区民公募、業界団体などで構成）の賛成多数で「長期計画」が策定され、区長に答申されました。

今年2月末から第一回定例会が始まり、自民党区議が29号線問題の質問。

静かな住宅街を

濱野区長は「整備を推進」と答弁しました。

長年にわたり、この問題に取り組んでいる方は「30年前に1度、計画を止めさせたいと思っていたら、亡霊のようによみがえってきた。こんな静かな住宅街にどうして20分道路なのか。絶対に納得いかない」と話します。

また、最近、品川区に引越してきた方は「緑が多いと思っ

引越してきたのに、こんな計画があったなんて知らなかった。防災を理由にするけど、税金をこんな道路に使うなんておかしい」と話します。



最終的な計画の事業化には、東京都の決定が必要になります。品川区とあわせ、東京都に対し、計画中止・廃止の声をあげましょう。なかつか亮

区議会の発言（一部省略）

自民質問「この路線は総延長5.4km、幅20mで戦後復興都市計画道路として計画です。平成27年度までに東京都が優先的に整備する路線に入っておりません。その理由は路線廃止の請願が区議会で採択された事があげられます。しかし東京都議会では同様の請願が不採択になった経緯があります。昨年の予定路線に含まれる二葉町3丁目、豊町5・6丁目が火災危険度の高い、ワースト10に含まれていると発表。補助29号線の延焼遮断体としての必要性について機運が高まっています。私は改めて補助29号線の延焼遮断体としての必要性を論じる時期に来ているように感じます。品川区も防災上の見地から29号線問題を区民に投げかける必要があると思うが、ご所見をお聞かせ下さい。（松沢利行自民党区議 一般質問）」

区長答弁「29号線沿いは防災危険度は極めて高く、この道路は交通網の一貫として必要だけでなく、防災上大変重要です。しかし、東京都の第3次事業化計画の優先整備路線に指定されておらず、道路整備の予定が立たない状況。新長期基本計画にも記載しておりますが、補助29号線は密集市街地の整備にあわせ、防災街づくりの観点から整備を推進する必要があります。（濱野健品川区長 答弁）」

雇用状況が悪化し、失業に伴う生活困窮が増えています。「派遣切りで収入が激減」「アパート代が払えない」など、生活相談はいつでもお電話下さい。労働相談も受け付けています。ひとりで悩まず相談はお気軽に。

なかつか亮

電話 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231